

住みよい小山をつくる会 第2回基地跡地利用ワーキング 議事概要

日時：平成18年11月13日(月) 午後7時00分～9時00分

会場：小山公民館 和室

1 「相模総合補給廠跡地利用構想」と「まちづくり提言書」についての意見交換

相模総合補給廠跡地利用構想」及び「小山地域のまちづくり提言書」について、要点を説明し、この構想、提言について感想、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・相模原市米軍基地返還促進市民協議会が平成16年3月に出した構想は、全体返還を前提として考えられたもの。しかし基地は、戦前の陸軍補給廠を受け継いだ地区で国有地と、戦後、朝鮮戦争のときに農地を買い上げて基地を拡大した地区の2つに分けて考えなくてはならないと思われる。今回返還される旧立川線から西は、朝鮮戦争前は小山の農地だったところ。旧立川線から東側が旧陸軍の土地で、自衛隊がある限り戻ってこない。それゆえ基地全体の返還を考えても生産的ではない。基地全体ではなく、返還される15ha及び共同使用の35haについての跡地利用のコンセプトをまず検討することを提案したい。
- ・相模原の中心になるように考える。
- ・全面返還の可能性について、市の見通し、意見を聞きたい。
市は長い間全面返還に向けて取り組んでいる。今後もすぐにはいかないだろうが粘り強く全面返還に向けて取り組んでいく姿勢である。
- ・返還運動にも参加してきたが、返還は無償ではなく有償と聞いた。この場合、どのようなことが考えられるのか
- ・返還は無償という保証はない。市では返還跡地の無償譲与を国に対して要望している。
- ・跡地利用について、数年前にアンケートをとっていたと思うが、その結果は。
- ・「相模総合補給廠跡地利用構想」には跡地利用についての3つアンケートの記載があり、その中の1つのアンケートと思われる。平成13年9月頃ではないか。結果は利用構想に反映されたと思われる。
- ・住みよい小山をつくる会の提言を取り入れるか否かの決定権は市にあるのか。
跡地利用は都市計画にかかわることで、市の都市計画課が中心になって利用構想をまとめ、それを基に土地利用計画・方針をつくり、都市計画決定することになっている。まだ、市の方針は未定。
- ・ここは小山地域だし、返還される土地も小山地域だったところだから、小山としての意見を出して形にしていきたい。
- ・地域の思いを伝えることが大事。
- ・相模原市の中心にあたるということで考えたらどうか。
- ・夢のようなことを描いてみたいが、やはり市の予算を考えて、何ができるのか検討することになると思うので、市に歩み寄った形の意見になるのかな。
- ・お金の問題から考えると限定されてしまう。民間活用も含めて考えたい。
- ・「構想」と「提言」を読んだが、相模原駅周辺はここ数年で変わってきたが、地域の目玉なるようなことを構想したい。
- ・道路と小田急線の延伸が計画されているが、JRの踏み切りの問題、南北で寸断されていることも考えたい。JRを高架にして南北の交流をはかる。隣接する住民の意見もいれたらどうか。
- ・淵野辺から橋本にかけて横浜線を高架にしないと、変換されても役に立たない。
- ・大相模原市の中心として、放射状に広がる扇の要になってほしい。
- ・住民の意見を反映する。静岡市と清水市の合併で、市名について住民の多数意見が反映されなかった静岡市の例もある

2 コンセプト案の検討

返還される15haと共同使用の35haを対象にして、コンセプトの考え方を検討する。

<主な意見>

- ・要望として大きいのは公民館の建て替えと多目的ホールの建設。市全体で考えると市役所の移転。
- ・向陽小学校が約3ha、跡地は15haで5倍
- ・津久井まで広がる相模原市の中心として位置づけ、公共施設の設置を望む。ここから市全体に広がっていくようなイメージにしたい。茅ヶ崎市のように駅前に市役所があって商店街が続き、活気のある街にしたい。それと緑の公園を配置する。
- ・駅前施設は小田急とJRを分離せず一体化したものとし、駅前の顔になる施設がほしい。
- ・向陽小の学区は駅の向こう側にもあり、子どもたちは朝夕、商店街を通学してくる。施設によって通学路にどう影響してくるのか。通学のことでも忘れないでほしい。
- ・通学路と大人の遊興する環境が分けられるようにしてほしい。

3 ワーキングの進め方の検討

(1) 作業内容の検討

<主な意見>

- ・自由意見がかなりあるので区分する。
- ・3つを選択する決まりに対し、4つ、5つと選択しているものはどうするか。判断基準が必要だ。
4つ以上の回答は、別に区分して、みんなで判断していくのはどうか。
- ・自由意見はワーキングのみんなで見ても、分類などしていききたい。
自由意見もまず入力しておかないと、みんなで見るできない。
次回のワーキングは11月28日の予定。回答は15日締め切りで、17日に自治会が集約した回答が公民館に集まる。それから集計、入力作業になるから、作業期間は実質1週間。

集計方法は、3つ選択のレギュラーと4つ以上選択のイレギュラー、そのうち自由意見ありの3つに区分する。選択肢の数字の集計は、エクセルで作成した入力表に入力して集計する。自由意見についても要約し、エクセルに付記することとする。

(2) 役割分担

ワーキングのメンバーを中心にアンケートの入力について役割分担を行った。なお集計は市側で行うこととなり、正式な入力フォームを各入力担当者にメール送信することとなった。

(3) 小田急とのPR

ワーキングメンバーより、以下の提案があった。

- ・跡地利用は小田急沿線と関わりが深いので、協力を要請したい。跡地のことを知らない人も多いので、小田急の延伸と返還のPR活動を行なう。境川クリーンアップ作戦では、小田急と連携したPR活動を行ない、小田急のグッズやティッシュを配布して広報した。小田急には、人的支援、小田急グッズの提供、配布などで協力を呼びかけることは可能。問題は小田急側に延伸のテンションが下がっていること。

4 今後の日程

以下の日程を確認した。企画会議にワーキングのメンバーから何人が出席して、ワーキングの報告などをすることとした。

- ・第3回ワーキング・・・11月28日(火)午後7時、小山公民館中会議室
- ・第10回企画会議・・・12月7日(木)午後7時、小山公民館中会議室
- ・第4回全体会・・・12月17日(日)午後7時、小山公民館大会議室